

ADAPTEX 株式会社

代表取締役社長

小比賀 理延さん

2021 年 2 月 14 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



環境保護へ省エネ推進

制御コンサルタントの ADAPTEX（アダプテックス、東広島市）は、定期的にメキシコから 5～6 人の JICA 研修員を受け入れている。2016 年からの日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画の一環である。日本に約 1 カ月招き、保有する高度な省エネ技術や日本での省エネ政策を伝えている。メキシコの主要産業は今でも石油産業で、環境汚染の改善



日本の製油所で省エネ運転技術を見学するメキシコからの研修員

が急務とされる。環境負荷低減のための省エネ推進が極めて重要となる。研修員は、メキシコ石油公社 PEMEX やメキシコ政府のエネルギー関連部門から選抜される。座学に加えて国内精油所の見学やシミュレーターを活用した技術体験により、プラント運転や運用に関わる省エネ技術への理解を深める。研修後には「両国で、エネルギー管理の緻密さに大きな差があることが分かった」「環境汚染対策の最前線を知ることができた」と感想を述べ、研修に高い評価を得ている。また「日本の文化が好きになった」「日本はどこもきれいで食事おいしい」といったコメントが聞かれ、ほとんどが日本ファンになってくれる。

帰国後は、習得した知識や技術をそれぞれの立場で政策や具体的な技術革新につなげている。省エネの延長線上にある環境負荷低減や二酸化炭素の排出削減は、日本だけの問題ではなく世界的課題である。友好関係を構築した上で、先進的な省エネ技術を海外へ展開・共有していきたい。